

[平成26年度第1回 富良野市下水道事業運営審議会 議事録]

○吉田上下水道課長の進行で開会

○部長あいさつ

昨年10月に消費税の水道料金への転嫁について諮問させていただき、諮問通りの答申を頂き、諸手続きを経たうえで本年4月使用分より新料金での徴収を行っております。本日は、諮問事項は無く、平成25年度の事業、決算及び平成26年度の予定事業、予算の報告を行う予定であります。

○委員、事務局の自己紹介

○審議会開催の成否

本審議会は過半数の委員が出席していることから条例第6条第2項の規定により審議会を開催できる旨を報告

○議事進行 小玉会長が議長となり議事進行。

○議事

報告1 平成25年度事業実施状況 (中島係長)

資料の基づき平成25年度に行った下水道事業について説明。

質問

汚泥処理の単価が二通りあるのはなぜか。

回答

富良野農業協同組合に委託している施設は市が整備したものであり、八紘牧場については自前の施設であることから、単価に差が出ている。

報告2 平成25年度決算状況 (西尾係長)

資料に基づき平成25年度の下水事業の決算状況について説明。

質問

浴場用の使用料が下がっているのはなぜか。

回答

件数については、減ってはいないが、利用者そのものが減っていると思われる。

質問

負担金の不納欠損の内容について。

回答2

負担金については、その徴収に努力しているところであるが、督促等を行っても支払いに応じていただけない5年を過ぎた債権については自動的に債権消滅となるので、会計上不納欠損としている。

報告3 平成26年度事業実施予定について (中島係長)

資料に基づき、平成26年度に予定している事業の実施予定を説明

質疑

無頭川の改修計画について

回答

無頭川については、普通河川を雨水幹線として使用している経緯があり、構造が積みブロックであることもあって老朽化により危険箇所が増えている。ボックス化も含めて大規模改修が必要な時期に来ているが、現段階では、危険箇所の補修を優先的に行っている。

報告4 平成26年度予算について (西尾係長)

資料に基づき、平成26年度予算について説明

質問

負担金の額が5割増しになっている理由は。

回答

平成26年度は昨年度に引き続き、花園工業団地の供用開始を行う。昨年に比べ約5割増しの面積が該当となるため負担金の額も増えている。

質問

事業費用に過疎債は充当しないのか。

回答

長寿命化計画に基づく改修工事、無頭川改修工事等については過疎債にエントリーしている。財政課とも協議を行い、一番有利な手法で事業を進めていく考えである。

報告5 消費税について

消費税については8%から10%増税する法案は成立しているが、実施時期については、政府の明確な姿勢が出ていない状況である。このような状況で水道料金への消費税転嫁について諮問は行なえない。また、生活関連の不課税品目についても同様な状況となっている。法案通り平成27年10月に増税が実施されることになれば、現審議による料金改定の審議をお願いすることになる。時期がずれる場合については次期の審議委員に審議をお願いすることになる。

その他 次回開催について

次期開催については、消費税の増税時期が確定した時点で調整を行いたい。

委員全員了解

閉会